

東北地方 1 か月予報

(6月14日から7月13日までの天候見通し)

平成15年6月13日
仙台管区气象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

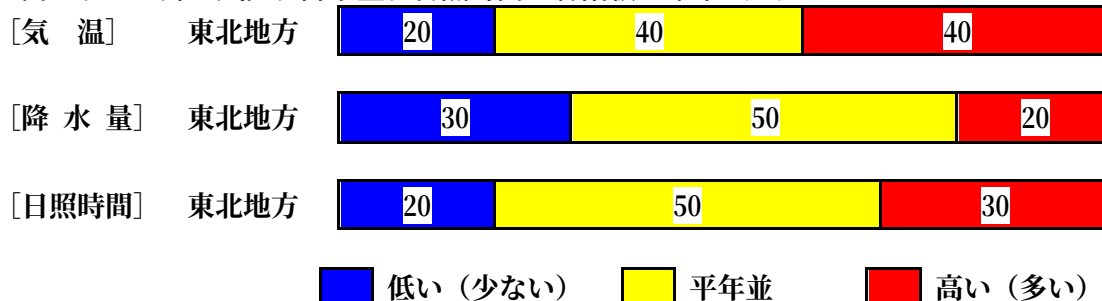
向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

天気は概ね周期的に変わりますが、前線やオホーツク海高気圧の影響でぐずつく時期があるでしょう。

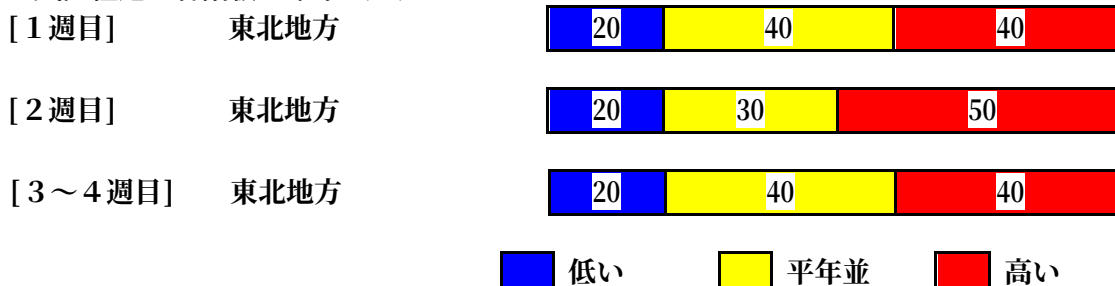
向こう1か月の気温は平年並か高い、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は平年並か高い、2週目は高い、3～4週目は平年並か高い見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1 か月 : 6月14日(土)～ 7月13日(日)
1 週 目 : 6月14日(土)～ 6月20日(金)
2 週 目 : 6月21日(土)～ 6月27日(金)
3～4 週 目 : 6月28日(土)～ 7月11日(金)

<次回発表予定等>

1 か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は6月20日
3 か月予報: 6月25日(水) 14時00分

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (℃)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(℃)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
大船渡	18.6	186.0	133.3	17.5	18.0	19.3
新庄	20.0	183.2	131.7	18.9	19.4	20.6
若松	21.1	163.8	138.8	20.1	20.5	21.7
深浦	18.8	133.4	166.6	17.3	18.2	19.5
青森	18.5	94.2	168.8	17.1	17.9	19.2
むつ	17.0	124.6	145.6	15.7	16.3	17.7
八戸	17.5	120.0	155.4	16.3	16.8	18.2
秋田	20.3	174.9	158.3	19.1	19.8	20.9
盛岡	19.5	146.8	132.9	18.4	18.9	20.1
宮古	17.4	143.9	128.2	16.2	16.7	18.1
酒田	20.7	183.1	153.9	19.5	20.1	21.3
山形	20.8	137.7	132.6	19.7	20.1	21.5
仙台	19.6	174.9	109.0	18.5	18.9	20.2
石巻	19.0	140.3	127.5	17.8	18.3	19.6
福島	21.1	152.2	112.4	20.1	20.3	21.7
白河	19.7	202.5	105.3	18.6	18.9	20.3
小名浜	19.6	168.0	122.1	18.4	19.0	20.2

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(℃)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5～+0.4	88～ 115	91～ 109
東北日本海側	-0.5～+0.3	82～ 109	92～ 106
東北太平洋側	-0.6～+0.5	86～ 109	89～ 112

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.6～+0.5	-0.6～+0.5	-0.6～+0.5
東北日本海側	-0.6～+0.4	-0.5～+0.5	-0.5～+0.6
東北太平洋側	-0.6～+0.6	-0.6～+0.4	-0.7～+0.5

＜参考資料（利用上の注意）＞

- （１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33%）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）確率は、予報した階級が実際に起こる割合（出現率）を表しています。たとえば、確率 60% の予報 10 例では、そのうちの 6 回で予報した階級が実際に起こり、4 回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率（各階級ともに 33%）から大きく隔たった確率（10%や 60%、70%など）を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30%、40%）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成 15 年 6 月 13 日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう 1 か月(6 月 14 日～7 月 13 日)：

天気は概ね周期的に変わりますが、前線やオホーツク海高気圧の影響でぐずつく時期があるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1 週目(6 月 14 日～6 月 20 日)：

気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多いですが、東北北部では期間の中頃晴れる日もあるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

2 週目(6 月 21 日～6 月 27 日)：

天気は概ね周期的に変わるでしょう。

平均気温は高いでしょう。

3～4 週目(6 月 28 日～7 月 11 日)：

天気は概ね周期的に変わりますが、前線やオホーツク海高気圧の影響でぐずつく時期があるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

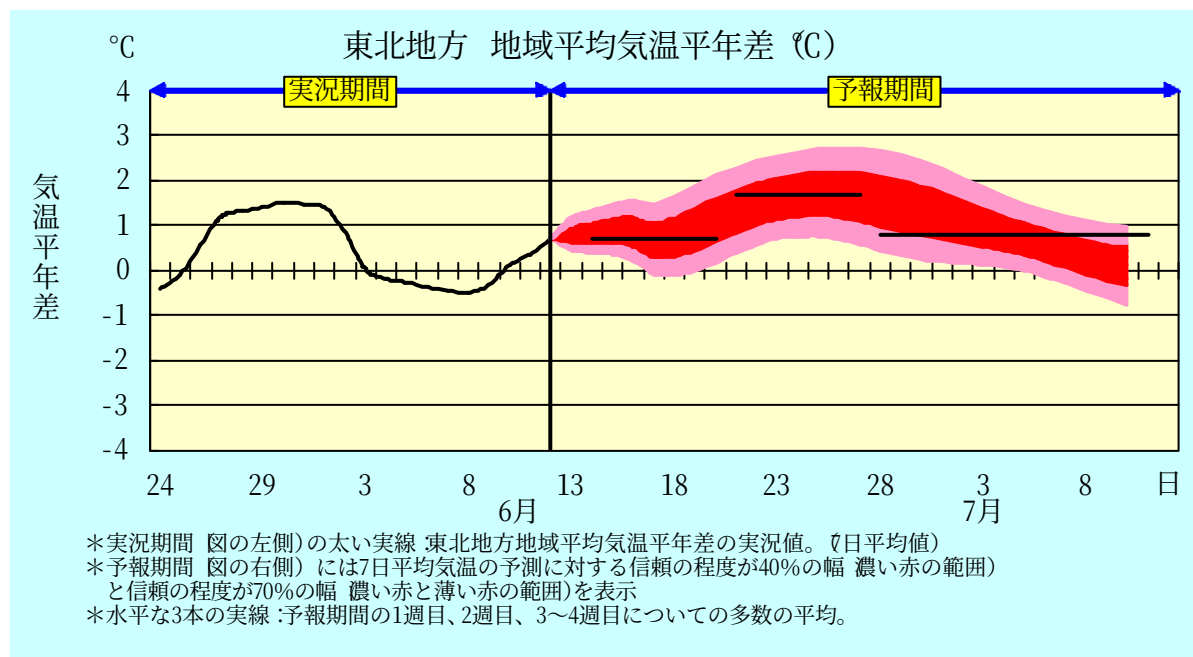
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	11.5 日	3.3 日	2.7 日	5.5 日
東北太平洋側	9.7 日	2.8 日	2.2 日	4.7 日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目、2 週目、3～4 週目共に「高い」と予測している。予報は、その他の資料から 1 週目と 3～4 週目を「平年並か高い」に変更するほかは、数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

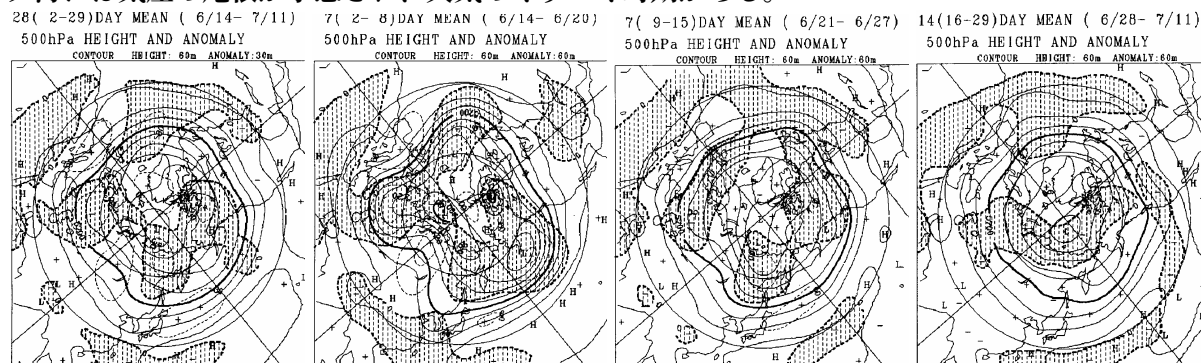


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近正偏差に覆われ、北日本から東海上で正偏差が強い。一方、オホーツク海付近や 30°N 以南では負偏差が広がる。日本の西が弱い谷場（西谷）となり、前線や低気圧の影響で天気のごずつく時期もあるが、天気は概ね周期変化。

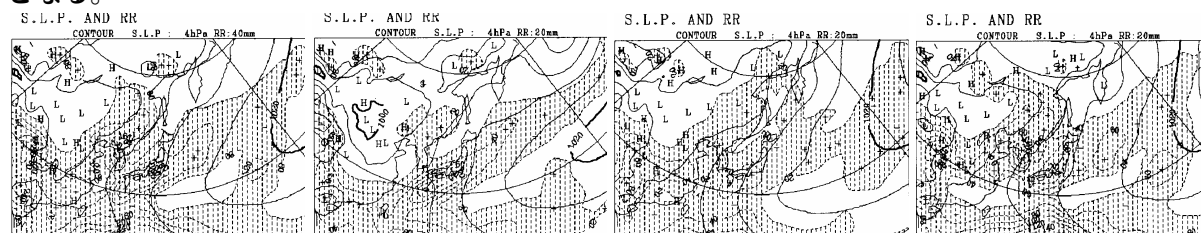
週別に見ると、1 週目は西谷強く天気はごずつく。2 週目は日本の南海上に太平洋高気圧が張り出し、偏西風は東西流が卓越して天気は概ね周期変化。3～4 週目も概ね周期変化だが、オホーツク海には気圧の尾根が予想され、天気のごずつく時期がある。



地上気圧と降水量：

月平均では、日本の南岸に前線に対応するまとまった降水域が予想される。

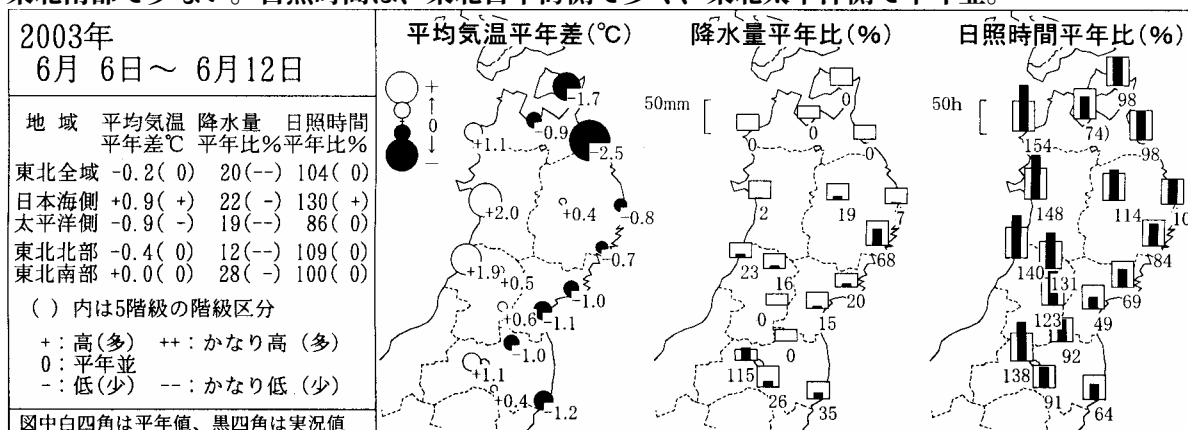
週別に見ると、1 週目、2 週目共月平均と同様だが、2 週目は日本の南岸の降水が弱い。3～4 週目は、日本付近低圧部でまとまった降水が予想され、オホーツク海高気圧も他の週に比べて顕著となる。



4. 最近1週間（6月6日～6月12日）の天候の経過

この期間、中心が北に偏った高気圧に覆われ、東北日本海側は概ね晴れたが、東北太平洋側は湿った東よりの風の影響で朝晩を中心に曇りの日が多かった。梅雨前線は日本の南から次第に北上し、9～10日頃にかけては九州から関東甲信が、12日頃には北陸、東北南部、東北北部が梅雨入りしたと見られる。

平均気温は、東北日本海側で高く、東北太平洋側で低い。降水量は、東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。日照時間は、東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）